



# 町長の行政報告を お知らせします

八峰町12月議会定例会が11日から13日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

- 12月議会定例会に  
提出した主な議案**
- △八峰町諸収入金の督促手数料及び延滞金の徴収に関する条例の一部を改正する条例制定
  - △八峰町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定
  - △八峰町介護保険条例の一部を改正する条例制定
  - △八峰町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定
  - △財産の無償貸付について
  - △工事請負契約の締結について
  - △平成25年度一般会計補正予算5804万9千円を追加  
主な歳出
    - 生活バス路線及びマイタウワンバス維持費補助金、LGGWAN機器更新経費、蝙蝠淵地区共同受信施設地上デジタル放送導入工事費、灯油購入費助成金、除雪関係経費、住宅リフォーム緊急支援事業補助金、林業施設災害復旧事業関係経費
    - △平成25年度八峰町介護保険事業勘定特別会計補正予算
    - △平成25年度八峰町後期高齢者医療特別会計補正予算
    - △平成25年度八峰町沢目財産区特別会計補正予算
    - △平成25年度八峰町営簡易水道事業特別会計補正予算
    - △平成25年度八峰町営診療所特別会計補正予算
    - △八峰町沢目財産区管理委員の選任について

## 行政協力員会議 自治会からの要望は52件



秋の行政協力員会議を11月15日峰栄館で開催し、各自治会から出された道路改良などの要望52件について、それぞれ町の考え方を示し、意見交換を行いました。要望に対する意見交換のほか、町からは町道の冬期間閉鎖箇所や小型除雪機械の貸出事業などを説明し理解を深めていただきました。

## バス乗券類購入補助事業 販売件数が1年間で910件

昨年10月から今年の9月末までのバス乗券類購入補助事業の購入件数は、910件、販売額は44万3千円となっており、前年に比べ販売件数で18件減少したものの、販売額では29万5千円伸びており、順調に利用されているものと思っております。

また、秋田県生活バス路線等維持費補助金は、運営収支がまとまり補助金額が確定しましたが、燃料費の高騰や車両維持費の増加などで経常費用の低減が進まず、補助金の申請額は、大久保岱線で若干減額となったものの、岩館線は、前年に比べ79万円の増加となっております。

## HATAーグランプリ2013で しよつる鍋がグランプリを獲得

11月30日と12月1日に東京築地本願寺前広場を会場に開催された「秋田鳥取うまいぞ！ハタハタフェスティバル2013」の企画、「HATAー1グランプリ2013」で、八峰町ブースで販売した八峰町関東ふるさと会の「本場ハタハタ入りしよつる鍋」が見事グランプリを獲得したほか、本町鈴木水産の「ハタハタメンチカツ」も2位となり、「ハタハタの里八峰」を全国に売り込むことが

できました。八峰町関東ふるさと会の神馬会長はじめ関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

## 生薬栽培事業「カミツレ、ウイキョウ、 キキョウ」の種子を採取

生薬の試験栽培は今年度から町の農園で開始したところですが、栽培品目はカミツレ、ウイキョウ、トウキ、センブリ、キキョウ、セネガ、オタネニンジン、カンゾウの8種類です。これらの生薬は、収穫できるまでの期間が1年から5年くらいまでと様々です。トウキとセネガは6月に播種したものの芽が出ない結果となり、果たして町に適するのかどうか、全品目について収穫するまでの検証が必要と見られます。

収穫までの期間が比較的短いカミツレとウイキョウ、キキョウについては、今年度の栽培で若干の種子を採取することができました。来年はこの種子を基に栽培面積を増やし、種子を確保した上で、なるべく早い機会に農家の方々の栽培につなげていきたいと考えています。

農林水産省では、薬用作物の試験栽培等を通じて新たな産地を創出し、国内生産量を拡大しようと、平成26年度からの新規事業として「薬用作物等地域特産作物産地確立支援事業」の概算要求をしていると聞いています。町の試験栽培が、

## ICTを活用した「公開授業」と 「フォーラム」を開催

補助事業として実施できるものと期待しているところです。

当町の3小学校では、平成23年度から5年生を対象に、24年度からはそれを6年生まで拡大して、タブレットと電子黒板や様々な情報機器を用いたいわゆるICTを活用した実証実験をNTTグループとの連携で行ってきました。

さらに、今年度は小学校と中学校の全学年、全教室に大型電子黒板とデジタル教科書を導入し、これまでの先行実践を参考に、学力向上のためにICTの日常的な活用の在り方を模索し始めたところです。

これは全国的に見ても画期的で最先端の取り組みと言える施策です。今年度はNTTとの連携事業の最終年度であるため、これまでの実践の成果の確認及び今後のICT活用の方向性を探るために、11月23日土曜日、八森小学校を主会場とした公開授業と「確かな学力向上につながるICT活用の在り方」をテーマにしたフォーラムをファガス文化ホールにおいて秋田県では初めて計画・開催いたしました。



裏に終了したところであり、ICTを活用することに対する関心が非常に高いことを伺い知ることができました。

当日は、八森小学校に水沢小と塙川小からのクラスも参加し、全部で8クラスの授業を公開しました。学年によっては2学期から初めてICTに触れたクラスもありましたので、その限られた期間に努力して立派に公開授業をされた先生方に対しましては、心から厚く感謝申し上げます。

## 県代表として町給食センターが 全国学校給食研究協議大会で研究発表

文部科学省主催の「生きる力」を幅広くむ食育の推進と学校給食の充実を主題として、第64回全国学校給食研究協議大会が、去る10月31日と11月1日に三重県津市で開催されました。

この大会に、秋田県代表として八峰町学校給食センターが選ばれ、「地場産物を活用した学校給食の充実」について研究発表を行いました。

今回の全国大会で発表する機会を得る事が出来たのは、学校給食における地場産物の使用率が、常に秋田県の上位にあり、地場産物生産者の協力、各学校の食育の実践、八峰町食育推進計画における家庭・学校・地域等の食育の推進が評価されたものと思っております。